

代表 1

受 令和 4 年 2 月 22 日  
付 午前 午後 9 時 00 分

一般質問（代表・個人）通告書

令和 4 年 2 月 22 日

尾張旭市議会議長 殿

公明党尾張旭市議団

氏 名 芦原 美佳子

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 11 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 1	令和4年度当初予算編成について
要 旨	<p>本市の令和4年度当初予算案は、一般会計予算額は過去最高額で265億3000万円で、対前年度比約7%の増額となっています。また、市税全体では前年度比約6%増の、6億9910万円の増収が見込まれております。新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、コロナ禍の影響が長期化し、先行きが不透明な中、どのような方針のもとで予算編成をされたのか伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>  2  </u>	新型コロナウイルスワクチン接種の推進について
要 旨	<p>新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染拡大が続くなか、現在流行中の型とは変異の仕方が異なる型（亜型）が見つかり警戒感が強まっています。</p> <p>本市では、3回目ワクチン接種の加速化に向けて、またこれからスタートする5歳から11歳を対象とした小児へのワクチン接種を安全・安心・円滑に進めるために、どのように取り組まれていくのでしょうか。体制や情報提供等、その対策について伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 3	子育て支援について
要 旨	<p>(1) 子ども医療費助成の拡大について</p> <p>本市の子ども医療費助成の対象年齢は、通院は15歳までで、入院費については今年度から、高校生世代までに拡大されました。厚生労働省の調査結果によると、2020年4月時点で、通院費助成の対象を「中学3年生まで」としている市区町村は全国1741市区町村中、873（前年比50減）で最多、次いで「高校3年生まで」が733（同74増）という状況です。</p> <p>愛知県内でも医療費無償化の通院・入院ともに18歳まで実施する自治体が少しずつ増えていきます。次代を担う子どもたちが、必要な時に必要な医療を安心して受けられるよう、子ども医療費の助成制度を通院も18歳まで拡大することについて、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 産前産後の支援について</p> <p>コロナ禍の長期化により、妊婦及び産後の親子の孤立が深まり、産後うつ の深刻化が大きな社会問題となっています。子育てひろばの閉鎖や、産 前の両親学級などの中止、行動制限の影響は非常に大きく、今までと同じ 形の子育て支援だけでは親子の孤立や産後うつを防ぐことは難しい状況下 にあります。地域のつながりが薄れる中で、産前産後のサポートは、相談 する場を失った母親の悩みや孤立感を取り除き、産後うつや児童虐待の予 防にも結び付くととても重要な支援です。産前産後の支援についての見解と 本市の取組について伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。





質問事項 No. 5	社会的孤立防止と生活困窮者への支援体制強化について
要 旨	<p>コロナ禍により、これまで以上に孤独や孤立、困窮といった問題が顕在化、深刻化しています。これまで生活困窮者自立支援、8050 問題、引きこもりの社会復帰支援・アウトリーチ等、議会で取り上げてきましたが、本市の新年度重点事業において、生活困窮者自立支援法の就労準備支援事業やアウトリーチ支援員の配置等が掲げられ、これからの取組に期待するところです。新たな取組が始める背景、社会的孤立防止と生活困窮者への支援体制強化について、これまでとの違い、今後どのように進められていくのか伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 6	がん患者のアピアランスケア支援の推進について
要 旨	<p>がんの生存率は、治療の進歩などによって上昇傾向にあり、早期発見・治療をすれば十分治る病気となりつつあります。また、生存率の上昇や通院治療が可能となることに伴い、日常生活と治療を両立させることも大きな課題となっています。がん診断時に仕事をしていた人が4割以上に上る現状から、治療と仕事の両立支援が重要であるとともに、がん治療に伴う外観（アピアランス）の変化への対処についても、社会参加を促進する観点から支援していく必要があるものと考えます。愛知県の新年度予算（案）には、アピアランスケア支援について、市町村に対する助成制度の創設が盛り込まれました。</p> <p>改めて、がん患者のアピアランスケア支援について、市長のお考えを伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。



質問事項 No. 7	高齢者施策について
要 旨	<p>(1) フレイル予防について</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策のステイホームや外出自粛による、高齢者の健康二次被害が懸念されています。健康な高齢者が2週間家の中であまり動き回らないようにすると、脚の筋肉量が3.7%減少したという報告もあります。フレイル予防の3つのポイントとして、栄養・運動・社会参加があげられますが、社会参加の制限により人と会う機会が減り、自粛生活で運動量の減少も心配されるところです。そこで、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるフレイル予防についての見解、また今後の取組について伺います。</p> <p>(2) 認知症施策の充実について</p> <p>認知症の予防や早期発見の取組とともに、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていける社会の実現はとても重要です。認知症高齢者等が、日常生活における偶発的な事故で法律上の損害賠償責任を負った場合に備え、市が契約者となり個人賠償責任保険に加入する事業が近隣市で広がっています。認知症の方や御家族を支えるこのような取組も今後さらに必要になると考えますが、認知症施策を今後どのように充実させていくのか見解を伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。



質問事項 No. 9	子どもたちや若い世代の提言を市政に反映させることについて
要 旨	<p>尾張旭市議会では、尾張旭市制 50 周年を記念し、県立旭野高校の生徒の代表とともに、高校生議会を実施しました。</p> <p>参加した高校生議員は3つの委員会に分かれ、それぞれが取りまとめた「私たちの提言（案）」をテーマに各常任委員会との意見交換を実施し、最終的な「私たちの提言」は、代表生徒から尾張旭市議会議長へ提出されました。</p> <p>若者の視点から、本市の課題を取り上げ、調査し、その解決策を提言するとても有意義な取組であったと感じています。</p> <p>これまで市当局が実施されてきた子ども会議においては、未来を担う子どもたちの提案を可能な限り形にされてきました。</p> <p>子どもたちや若い世代の提言を市政に反映させる、形にするという取組を市長はどのようにお考えでしょうか？</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。



